

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	8	権利擁護に関する制度の理解と活用が出来ていない	日常生活自立支援事業や成年後見制度について職員が学び、利用者家族から相談があれば支援出来るようになる	①制度(成年後見制度)の研修として事業計画で取り組む ②職員に分かりやすく説明が出来るような資料を作成 ③家族に簡単に分かりやすく説明ができるようチラシを作成する	6ヶ月
2	25	思いや意向の把握を行っているが、利用者の生活の活性化に繋がっていない	暮らしの場面場面で、本人本位の支援が出来るよう意向を把握して、日常的に自己決定が出来るような場面づくりが出来る様になる	①担当職員が利用者の状態把握が充分できるようなアセスメントの見直しを行う ②介護計画には、本人の意向・要望(外出希望など)を反映させる	12ヶ月
3	37	災害対策 火災や地震、水害などの災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が理解することが不十分である。また、地域との協力体制が必要である。	防災訓練については、基本的な通報装置の使い方や、災害に必要な備品や設置場所などの確認が充分にでき、安全に利用者を避難できるようになる。	①事業計画に防災訓練に取り組む。(部署内・地域の方参加の防災訓練) ②通報装置の使用方法・備品の設置場所を学ぶ③日中・夜間想定避難訓練に取り組む	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。